

# 雪の恩返し

～ 越後上布・米・鈴木牧之と北越雪譜 ～

ユネスコ無形文化遺産  
国指定重要無形文化財

## 「越後上布」

越後上布は、さらりとした着心地の夏着物で通気性に富み、最高級の麻織物として知られています。



越後上布

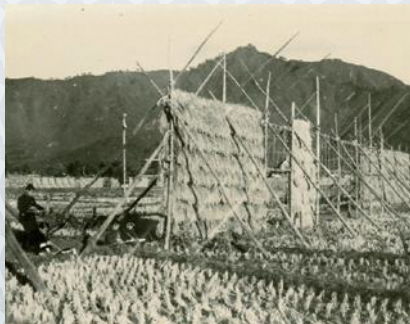
の“技”は雪国 南魚沼の風土と麻糸の特質が合わさったことで生まれ、地域の重要な技術として連綿と千百年にわたって現在まで受け継がれています。

今年度、ユネスコ無形文化遺産登録から10年を迎えることを記念し、越後上布の技と歴史を紹介します。

## 極上南魚沼産コシヒカリを生んだ雪と人

南魚沼産コシヒカリは、雪と先人の努力によって生まれました。冬に降った雪は、春になると水田を潤し、山に現れる雪形は農事暦でした。

雪の恵みを受け、先人たちの技術の向上と農具の改良の歴史を紹介します。



稲架 (はざ)

鈴木牧之記念館に稲架がけが登場

## 鈴木牧之と北越雪譜

鈴木牧之は、越後の雪深い生活を伝えるために、40年の歳月を費やし、天保8年(1837)に山東京山の協力を得て『北越雪譜』を世に出しました。

北越雪譜は江戸でベストセラーとなり「雪」といえば引用に使われる本となっています。出版や文芸活動のため様々な人物と交友のあった牧之、その反面、縮の仲買、質屋と家業に精を出し、地域の飢饉救済にも尽力した鈴木牧之の多様な顔を紹介します。



北越雪譜

## 関連行事

開催日：10月12日(土)・13日(日)・14日(月・祝)  
時間：午前10時～午後3時  
会場：鈴木牧之記念館および周辺  
参加方法：申込み不要。直接会場までお越しください。

### 越後上布の技術実演

越後上布の重要無形文化財の指定要件となっている代表的な技術「芋績み」「紺くぶり」「いざり機」の実演を行います。越後上布の繊細な技術をぜひ間近でご覧ください！



芋績み



紺くぶり



いざり機

### ● 米作りの農具を動かしてみよう

電気やエンジンなどを使わなかった時代の農具、足踏み脱穀機や風を起こして選別する唐箕(とうみ)を動かしてみましよう。あなたの体が農具になる。



足踏み脱穀機

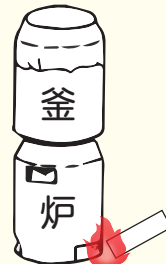


とうみ唐箕

### ● 空き缶と紙パックでコシヒカリを炊こう

会場：塩沢交流広場 野外ステージ  
(鈴木牧之記念館前)

もし災害で電気もガスも止まってしまったら…身近にある空き缶(釜と炉)と紙パック(燃料)で、お米を炊くことができます。実費100円(米代金)で、自分で炊いた美味しいご飯を食べよう。



### ゆうさり開館 時間：19時まで

鈴木牧之記念館は「ゆうさり(夕方)」延長開館いたします。  
ゆうさり開館日：10月18日(金)・25日(金)、11月1日(金)  
ご来場をお待ちしております。

### 鈴木牧之記念館

入館料 大人 500円  
小人 250円  
(団体20名様以上2割引き)

開館時間 9:00～16:30

※会期中は休館日無し

住所 南魚沼市塩沢1112-2

TEL 025-782-9860

### 交通案内

JR上越線 ・塩沢駅より 徒歩10分  
関越自動車道 ・塩沢石打ICより 約15分  
・六日町ICより 約15分

### 《問い合わせ》

南魚沼市教育委員会 社会教育課 文化振興係

T E L 025-773-3756

F A X 025-772-8161

